

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 関ヶ原町

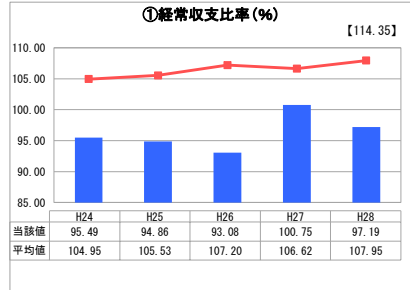
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	68.40	90.27	3,450	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,405	49.28	150.26
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,600	12.00	550.00

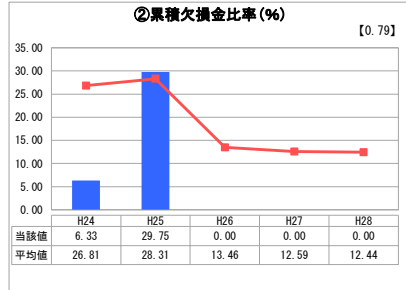
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

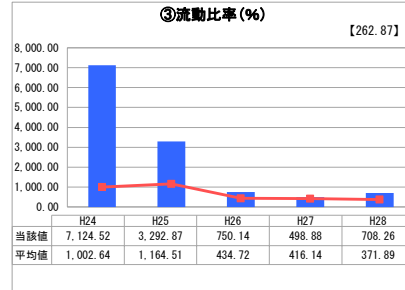
## 1. 経営の健全性・効率性



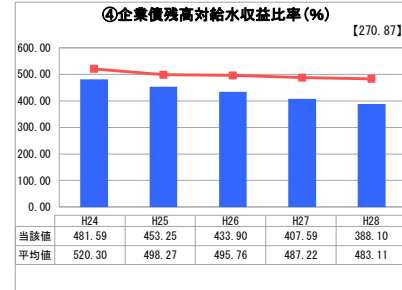
「経常損益」



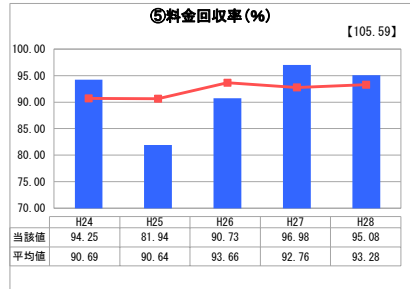
「累積欠損」



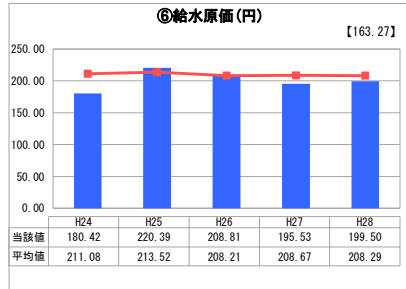
「支払能力」



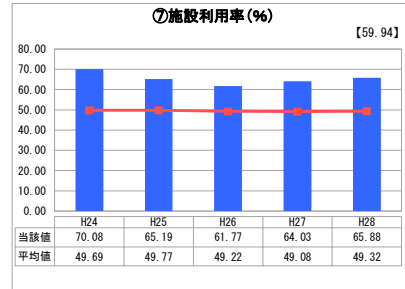
「債務残高」



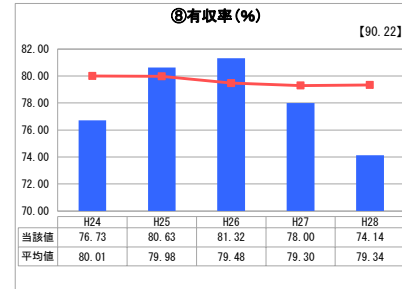
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

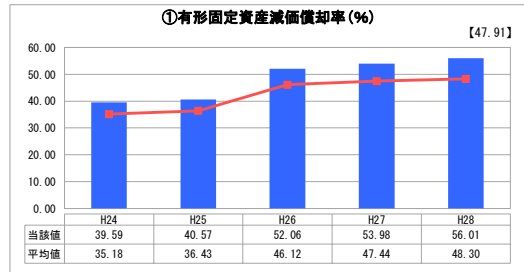


「施設の効率性」

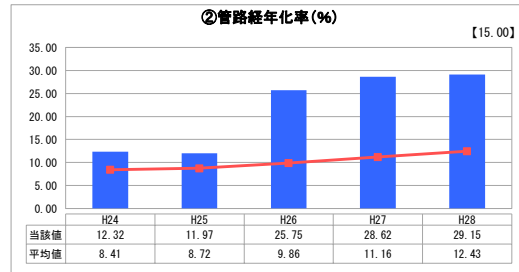


「供給した配水量の効率性」

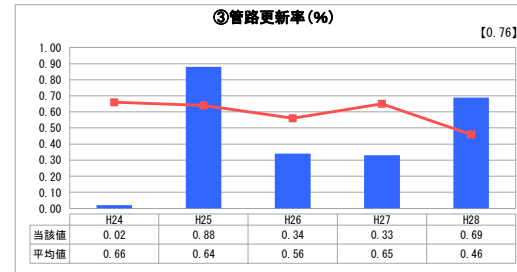
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は昨年度は100を超えたが、今年度は再度、100を下回る事となった。また、全国平均よりも低い数値となっている。年々給水収益が減少し、維持管理が増加しており、今後も100を下回る状況にある。流動比率については、昨年度より僅かに増加した。企業債残高対給水収益比率は類似団体の平均より下回っており、年々減少しているが、今後、拡張事業や管路更新に新たな借入も必要となるため、計画的な借入を行って行きたい。料金回収率は改善傾向にあったが、今年度は数値が悪化し、さらに100を下回っている状況にある。給水原価も年々減少したが、今年度は数値が上がっている。施設利用率は類似団体の平均値より高く、数値も年々上がっており、施設の効率的な運用が出来ており、この水準を維持していきたい。有収率は、管路の老朽化が進み、大きな漏水が発生した為、昨年度より更に悪くなった。このため、計画的な管路更新を進める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率と管路経年化率は年々増加しており、更新が必要な施設、管路が増加している。類似団体と比較すると有形固定資産減価償却率、管路経年化率とも高く、類似団体より、施設の老朽化が進んでおり、特に管路の老朽化が進んでいる。第4次拡張事業で施設整備を進めているため、老朽管更新が進まず、老朽管が増加しているが、今年度の様に、第4次拡張事業に伴う配管の更新箇所もあり、管路の更新が進む場合があるが、計画的な管路更新計画がないため、年度により管路の更新量に増減が生じる。

### 全体総括

今年度、経常収支は赤字となった。今後も給水収益の減少、維持管理は増加していく。また、更新する設備、管路も年々増加し、更新費用の増加が見込まれる。水道事業の安定経営に向けて、昨年度策定した経営戦略に基づき、経営を進めたい。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。